

評議員会 議事録

日 時：2000年7月15日(土)

11時00分～16時00分

場 所：国立天文台 講義室

出席者：石黒，木下，小杉，佐藤(勝)，佐藤(修)，
高津，谷口，中村，長谷川，渡部，井上，上野，
岡村，奥田，加藤，須藤，福島，吉田 以上18名

欠席者：家，池内，野本，林，松田，海部，小平，
小山，鈴木，高原，福江，観山 以上12名

有効委任状提出者：家，海部，鈴木，高原，福江
以上5名

他に理事会から尾崎理事長，大石理事，立松理事，有本理事，山岡理事，中井研究奨励賞選考委員会委員長，原事務長，東条次期事務長が出席

議事に先立ち，議長に奥田治之氏を，署名人に石黒正人氏，佐藤修二氏を選出した。

議事の経過及び結果

1. 「天文研究者の別姓使用のお願い」を，関連研究機関など約23機関に送付したことが大石庶務理事より報告された。岡村評議員より，追加送付は可能かとの質問があり，追加送付は必要に応じて行なうことが確認された。
2. 前回（2000年4月4日）の評議員会議事録が報告され，承認された。
3. 1999年度研究奨励賞受賞候補者の推薦理由を中井委員長が報告した。質疑応答の後，賛否を問い，満場一致で委員会推薦の通り高橋順子氏に1999年度研究奨励賞を授与することを決定した。しかしながら，推薦理由書について修正要求があったため，中井委員長に修正をお願いし，奥田議長が最終的にチェックすることとした。これに関連して，受賞対象者は天文学会会員以外でもよいのではないかとの意見が福島評議員から出され，意見交換を行なった。
4. 2001年度天文学会事業計画案を大石庶務理事が説明した。後援事業の記述について小修正を行なうこと以外は原案通り承認された。
5. 2001年度収支予算案について立松会計理事が説明した。また，繰越収支差額の定義を，「前年度決算が確定した時点での次年度繰越金」から「前々年度決算での次期繰越金」に変更したことも説明された。収支予算案は原案通り承認された。これに関連して会費未納者が会員全体の1/3もあることが報告され，学会としてこの状況を早急に解決すべく，自動引き落としキャンペーンをするなど様々な努力をするよう理事会に要請することとなった。
6. 2001-2002年度の理事・監事候補，選挙管理委員会委員候補，林忠四郎賞選考委員会委員候補の説明を大石庶務理事が行い，意見交換の後，原案通り承認された。
7. PASJの製作委託先，販売委託先を，2001年度よりそれぞれPLAIN，丸善に変更することについて有本理事が説明した。また電子版のサーバーは理研から学会事務室に移設することとなる。PASJに特集号が多いために一般投稿論文の出版が遅れ気味となることについて谷口評議員より質問があり，理事会で予算措置をとったので出版が遅くならないようにできると有本理事が回答した。また，電子出版について多くの質疑がなされた。
8. その他

(1) 日本学術会議第18期会員として天文学会推薦の池内了氏が承認されたことが大石庶務理事より報告があった。

(2) 山岡理事より、天体発見賞選考委員会で検討を進めている「天文功労賞（仮称）」についての説明があった。本賞は、観測量や発見数の多さにより天文学への寄与が顕著なものを対象とすることが説明された。評議員会としては賞の制定をすることを支持することを確認し、その後、賞の性格づけ・学会として責任を持って選考するための基準・内規案・賞の名称などに関して様々な意見が交換され、天体発見賞選考委員会でさらに検討することとなった。これに関連して天体発見賞の発見対象として、彗星、新星、超新星以外のもの（小惑星など）も含めることが山岡理事より表明された。

(3) 上野評議員より、若手夏の学校でのポスターボードを学会から1枚2000円で借りていることに関して質問があったが、理事会と相談するべき事項であるということになった。

(4) 学会事務室の国立天文台テープ保管庫への引越しを8月29日に行なうことが、大石庶務理事から報告された。

(5) 五島プラネタリウムの閉館に伴い、秋季年会総会で学会より感謝状を贈呈することが大石庶務理事より報告され、了承された。

2000年8月22日
議長 奥田治之 印
署名人 佐藤修二 印
署名人 石黒正人 印

[天文学会ホームページに戻る](#)